

(様式1)

令和4年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立伊目小学校運営協議会長

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・校長から学校運営の基本方針について、詳しく説明があり、それに基づき各委員が様々な視点で意見を述べ、充実した熟議となった。
- ・伊目の子は伊目の皆で育てるという共通理念のもと、充実した熟議ができた。
- ・学校運営方針はすばらしく、自分自身が在籍していた当時より受け継がれている「4つの気」は伊目っ子の大きな支えになっていると思う。

＜評価項目2＞ 学校運営に資する活動について熟議を進めることができたか。

- ・学校運営の基本方針を踏まえながら、コロナ感染予防対策、子供たちの健康管理に関し、熟議を円滑に進め、各種行事等について具体的な提案もあり、実効性のあるすばらしい意見が多くあげられ、よい活動が図れた。

＜評価項目3＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- ・自己肯定感を育み、自分から「なにかやってみよう」と思える子供たちを育てるお手伝いをしたい。
- ・今年度の活動を基に継続していきたい。
- ・地域と共にある伊目小学校という良き伝統を今年度もしっかりと実践できた。引き続き変わらぬ活動をしていくつもりである。ただし、少子化に伴い、保護者の数も減少していることから効率的な活動となるよう努力していく。
- ・様々な立場の委員の意見を聞いたことで、学校や子供を捉える視点が広がった。
- ・生き生き学校はたいへんなことも多いが、続けることが大きな地域の力になる。

＜評価項目4＞ 協議会の取組や学校運営に資する活動について、保護者、地域と連携し、協働することができたか。

- ・伊目小学校の三世代交流事業等、伝統を重んじ、各種行事を円滑に推進するため、地域、保護者、学校の先生方と連携を図り、活発に活動することができた。このすばらしい伝統をこれからも引継ぎながら、未来へ羽ばたく子供たちの原動力となる活動としたい。
- ・学校行事、地域活動にも児童は積極的に参加し、学校、保護者、地域とのつながりを実感した。課題は学校運営協議会が保護者、地域に定着していない点である。